



# 読書を通して 心豊かに

「おはようございます。(略)  
教室に入って読書の準備をしま  
しょう」

この放送がかかると運動場で  
遊んでいた子どもたちも一斉に  
教室に入っていきます。そして  
各自が思い思いの本を読み始め  
ます。時には担任が読み聞かせ  
をしている学級もあります。

読書は、知識を得るだけでなく、  
想像力を育み、間接的にで  
はありますがさまざまな経験を  
することが出来ます。脳の働き  
を高め、心を豊かにします。

しかし、子どもたちに人気が  
あるのはパソコンのゲーム。家

に帰れば塾通いや習い事で忙し  
く、なかなか本に触れる時間が  
とれない現状があります。

そこで、一日の始まりを落ち  
着いたものにするこや、子ど  
もたちに読書の習慣をつけたい  
と願って昨年度、『朝読書』を  
設けました。また、児童会の図  
書委員会を中心に図書館まつり  
を開いたり、昼休みにポランテ  
ィアのかみふうせんの方に読み  
聞かせをしていただいたりして  
います。

平成十八年度には光製作所の  
ご寄付により、図書館が改装さ

れ、美しく整った環境となりま  
した。平成十九年度には蔵書も  
充実させることができました。

このような取り組みの結果、  
子どもの読書量が増加し、本に  
親しむ子が増えてきました。

「いろいろなことを考えたり想  
像したりしながら本を読むこと  
は楽しい」

「知らなかったことを知ること  
ができてわくわくする」

「本を読んでいるうちに漢字を  
覚えることができる」

「時間がたつのを忘れてしまっ  
くらい熱中する。もっともつと  
本を読みたい」といった声が聞  
かれます。

また、『朝読書』についても、  
「いろいろな本が読める」

「朝読むことで、たくさん本を  
読むようになった」

「授業にも集中して取り組める  
ようになった」と好評です。

『朝読書』は昨年度五分間でし  
たが、本年度は十分間にし、ま  
た、図書館経営を一層充実させ  
て子どもの読書への関心意欲を  
高め、豊かな心づくりに努めた  
いと考えています。

下羽栗小学校  
校長 横山直美



朝読書をする児童たち



笠松町道徳教育連絡会議

# 家庭系燃えるごみ処理券

## ごみ処理券を貼る目的

- ①ごみの分別の徹底、ごみの減量化に努めていただきます。
- ②ごみの排出者としての責任意識を今まで以上に持っていただきます。
- ③他地域からの持込防止、現在の大量消費、大量廃棄の生活スタイルを環境にやさしいスタイルに改めていただきます。

## ごみ処理券の白地部分の記入の仕方

プライベートの保護などの問題があることから町内会で慎重に協議していただき、町内の皆さんが理解して納得できる方策で実施していただくようお願いしています。

町内会によっては、固有の番号を記入し、排出者を特定できるように工夫して、分別マナーの向上に成果を上げているところもありますので、各町内の事情に適した方法を皆さんで講じていただくようお願いいたします。

## ごみ処理券に記名する理由

記名していただくことにより、ごみ排出に責任を持っていただき、違反ごみを出さないことを目的としています。

また、ステーションに出されたごみのうち回収されなかった違反ごみは、町内会長さんや廃棄物減量等推進員さん、または、ステーションの当番の方に再分別していただいております。

大変な負担となっております。排出者が分かれば違反ごみが出た場合、ごみ袋を排出者へ返還するだけで良くなり、町内会の負担も軽減されます。

## ごみ処理券が無くなった場合

町内会長さんまたは役員さん、役場環境経済課で追加配布します。

十九年度のごみ処理券が余っていたら、二十年度分として使用していただいてもかまいません。

詳しくは、環境経済課までお問い合わせください。